

設立趣意書

スマートコミュニティとは、電気の有効利用に加え、熱や未利用エネルギーも含めたエネルギーの「面的利用」や、地域の交通システム、市民のライフスタイルの変革などを複合的に組み合わせた新しいまちづくりである。スマートコミュニティの構築は、エネルギーセキュリティの向上や低炭素型社会の実現、環境負荷の低減や市民の利便性・快適性の向上など、近年の様々な社会要求に対し、まちづくりという面的な観点から実現を図り、地域の魅力を高めることを目的とする。

本市では、市内で利活用可能なエネルギーを最大限効果的に地域内で利用し、エネルギーの地産地消によるエネルギーセキュリティ向上や対象需要家のエネルギーコストの削減等によりエリアの魅力を高め、地域経済の活性化に寄与するスマートコミュニティモデルに注力してきた。エネルギーに加え、ICT の活用による交通の利便性の向上や効率的・低炭素型交通システム構築等、地域のスマート化の推進は、社会面、環境面、経済面の 3 つの側面において、市が持続可能な社会を構築する上で重要なコンセプトであるといえる。

平成 28 年 7 月 1 日に、本市は市制施行 100 周年を迎える。先人のたゆまぬ努力と輝かしい功績を誇りに思うとともに、平和で、健康で、快適な生活を営むまちづくりを推進し、市の持続的な発展を継続しなければならない。本市はスマートコミュニティの実現を通じて、新世紀岡崎を推進する。

本日、岡崎市のスマートコミュニティを推進する母体として、岡崎スマートコミュニティ推進協議会を設立する。国内外のスマートコミュニティに関する豊富な知見を有する有識者・企業が集まり、本市および金融機関と連携し、産学金官での連携・協働の上、スマートコミュニティ構築に向けた活動を図っていくこととする。

平成 26 年 10 月 9 日

岡崎スマートコミュニティ推進協議会